

4月から成年年齢が引き下げ 全国の新成人 1,000 人のお金に関する実態を調査

新成人が自由に使えるお金は平均 4.32 万円

限りあるお金の節約方法として最も選ばれたのは「ポイントを有効活用」

新成人の d ポイントユーザー 400 人のうち 4 人に 3 人が
「d ポイント」についてポイントがたまりやすいと高評価

株式会社 NTTドコモ(以下、ドコモ)は、4月からの成年年齢の引き下げに伴い新成人となる全国の新成人 18～19 歳の男女 1,000 人を対象に、2022 年 3 月 1 日～3 月 3 日の期間において、「新生活の消費意識に関するアンケート」をインターネットで実施いたしました。主な調査結果は以下の通りです。

<調査結果サマリ>

■新成人になるにあたっての心境、自覚と戸惑いが入り混じる新成人 1,000 人のリアルな声

「責任を感じる」新成人は 82.0%。一方、「まだ具体的に実感することはない」「大人になったという実感が無い」も 8 割超え。

■新成人 1,000 人の新生活でのお財布事情は、収入が増える見込みの新成人より支出が増える見込みの新成人が多い

4 月以降、支出増加が見込まれるのは 68.0%だが、収入増加は 48.9%にとどまる。増えそうな支出は平均 5.26 万円/月、増えそうな収入は平均 5.06 万円/月。新成人の新生活では、収入が増える見込みの新成人より支出が増える見込みの新成人の方が多い。

■新成人 1,000 人のうち、9 割は「できる限り節約」「堅実で計画的な消費行動」を選択、節約方法トップは「ポイントを有効活用」

4 月以降、新成人が自由に使えるお金は平均 4.32 万円/月！3 月以前と比べ自由に使えるお金は増えるが、支出も増加するため、新成人 1,000 人のうち 9 割は「できる限り節約」「堅実で計画的な消費行動」を選択。新成人の節約方法 1 位は「ポイントを有効活用」(80.0%)。

■ポイントを有効活用できている新成人は、そうでない新成人よりも自由に使えるお金が平均約 2,000 円/月多い

新成人 1,000 人のうち 62.7%が、ポイントを有効活用できていると思っていると回答。ポイントを有効活用できていると思っている新成人が自由に使えるお金は平均 4.39 万円/月、ポイントを有効活用できていない新成人は平均 4.20 万円/月。ポイントを有効活用できていると思っている新成人の方が、平均約 2,000 円/月近く多く自由に使えると回答。

■ポイントを有効活用できていない理由ランキング 1 位は「おトクなポイントのため方がわからない」！

一方で、今後のポイントの有効活用の意向は高い

今後のポイントの有効活用について、新成人 1,000 人のうち 89.9%がポイントを有効活用したいと回答。

■複数のポイント使用における悩みが顕在化

新成人 1,000 人のうち、82.9%が「ポイントは 1 つにまとめた方がおトク」と回答している一方で、実際には 61.4%が「管理が大変で共通ポイントが分散」していると回答。

■新成人の「d ポイント」ユーザー 400 人のうち 9 割が継続利用したいと回答！「ポイントがたまりやすいと思う」と高評価

新成人 1000 人のうち、d ポイントユーザー 400 人の中の 4 人に 3 人は「d ポイントはポイントがたまりやすい」(76.0%)と高評価。9 割が「今後も利用したいと思う」(91.0%)と、d ポイントを継続利用したいと回答。

「新生活の消費意識に関するアンケート」調査概要

調査時期:2022年3月1日(火)~3月3日(木) 調査方法:インターネット調査 調査対象:2002年4月2日生まれ~2004年4月1日生まれで2022年4月1日のタイミングで一斉に新成人となる全国の18歳~19歳の男女1,000人(男女各500人ずつ)

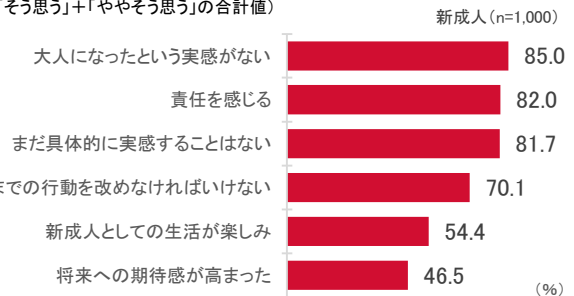
新成人の新生活に関するお金の実態調査

2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わります。これに伴い、2002年4月2日～2004年4月1日生まれの18歳・19歳は、2022年4月1日に新成人となります。成年年齢の約140年ぶりの見直しで、新たに誕生する18歳・19歳の新成人の男女1,000人を対象に、4月から始まる新生活でのお金事情について調査しました。

■ 自覚と戸惑いが入り混じる新成人

まずは、新成人になるにあたっての心境を聞きました。82.0%が新成人としての「責任」を感じている一方、「大人になったという実感がない」(85.0%)、「まだ具体的に実感することはない」(81.7%)と答えた人も8割と多く、大人になることを自覚しつつも戸惑う様子がうかがえます[図1]。

[図1] 新成人になるにあたっての心境
(スコアは「そう思う」+「ややそう思う」の合計値)

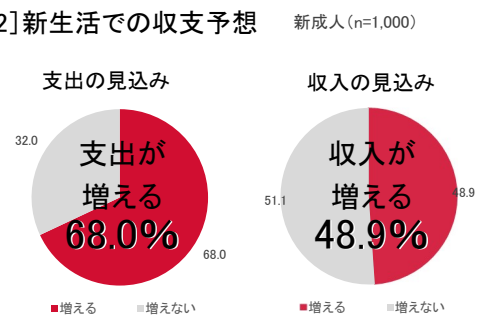


■ 4月からの新生活でのお財布事情、収入が増える見込みの新成人より支出が増える見込みの新成人が多い

次に、新成人のお財布事情を聞きました。4月からの新生活で、「支出が増えそう」と答えたのは68.0%、「収入が増えそう」と答えたのは48.9%でした[図2]。

支出が増えそうと答えた人に、増加する支出見込額を聞いたところ^{*1}、平均で5.26万円/月となりました。一方、収入が増えそうと答えた人の増加する収入見込額は平均で5.06万円/月となりました[図3]。

[図2] 新生活での収支予想



支出が増加する項目で回答があった主な内容は、「趣味」(59.3%)、「服飾費」(48.7%)、「食費」(47.5%)、「交通費」(41.9%)、「交際費」(40.0%)が多く[図4]、その対策として回答があった主な内容は、「勤務時間やアルバイトを増やす」(61.0%)、「節約」(58.4%)、「支出を見直す」(47.4%)、「副業」(31.0%)が挙げられました[図5]。

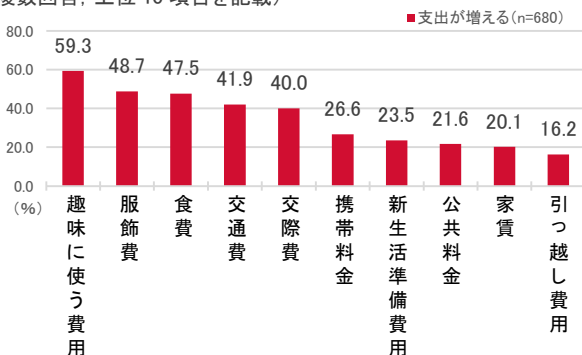
[図3] 新生活で増加する1ヶ月の支出見込額と収入見込額

^{*1} 支出増加見込みの680人の回答から上下1%除外した666人の平均値
収入増加見込みの489人の回答から上下1%除外した479人の平均値



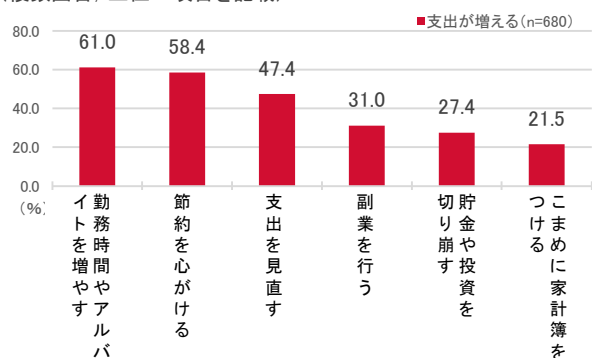
[図4] 新生活で支出が増加する主な項目

(複数回答、上位10項目を記載)



[図5] 増加する支出への主な対策

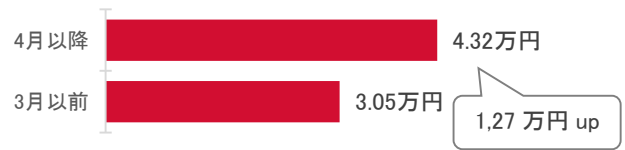
(複数回答、上位6項目を記載)



■ 新成人が自由に使えるお金は平均 4.32 万円/月！

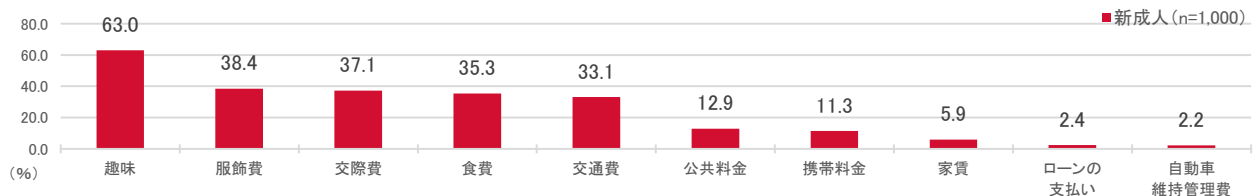
新生活で自由に使える金額を聞くと※2、平均で4.32万円/月となりました。3月までの自由に使える金額の平均が3.05万円/月だったことから、月に平均で1.27万円、自由に使えるお金が増えています[図6]。

[図6] 自由に使える1か月あたりの平均金額
※2 新成人1,000人の回答から上下1%除外した980人の平均値

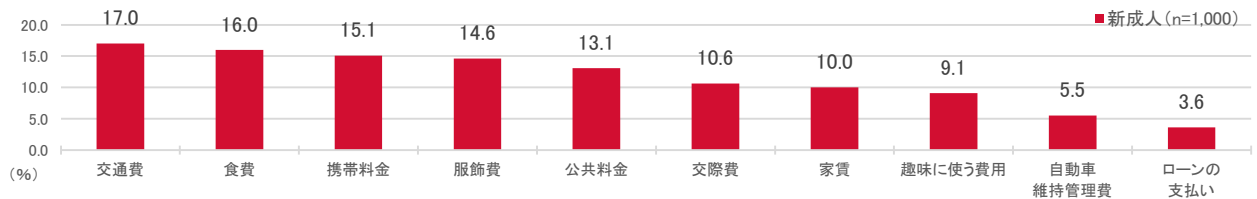


しかし、その分、自分で管理しなければならない家計項目も増えているようです。3月まで自分で管理していたのは、「趣味」(63.0%)、「服飾費」(38.4%)、「交際費」(37.1%)など自分が使いたいものがメインでした[図7-1]。一方、3月までは管理しておらず4月から新たに管理するようになるものを聞くと、「交通費」(17.0%)、「食費」(16.0%)、「携帯料金」(15.1%)が上位となり、生活に必要なものも自己管理することになるようです[図7-2]。

[図7-1] 3月まで管理していたもの(複数回答)



[図7-2] 4月から新たに管理するもの(複数回答) ※3月以前は管理せず、4月から新たに管理する項目



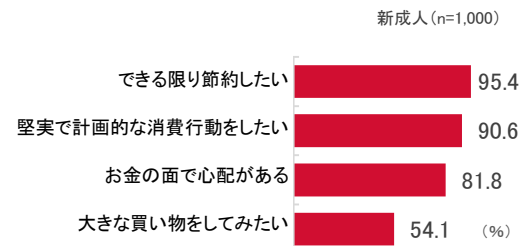
■ 新成人の消費行動、「節約」「堅実」「計画的」がモットーに

新成人の新生活は自由になるお金は増えつつも、支出が増える上に自分で管理する家計項目が増える見込みです。

厳しいお財布事情を前に消費意識を聞いてみると、9割が「できる限り節約したい」(95.4%)、「堅実で計画的な消費行動をしたい」(90.6%)と答えました[図8]。新成人の消費意識は、節約第一を心がける堅実志向のようです。

[図8] 消費意識

(スコアは「そう思う」+「ややそう思う」の合計値)

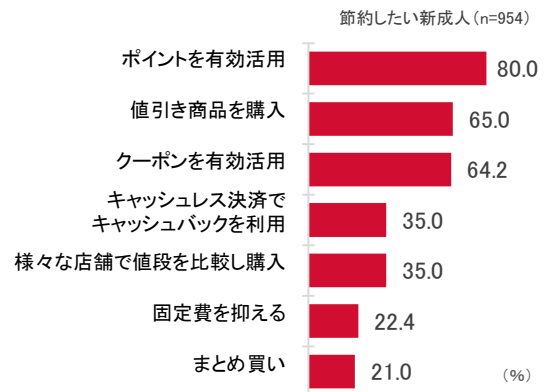


■ 新成人の節約方法、トップは「ポイントを有効活用する」に

では、どのような方法で節約を行うのでしょうか？できる限り節約をしたいと答えた 954 人に節約方法を聞くと、「ポイントを有効活用」(80.0%)が最も高く、次いで「値引き商品を購入」(65.0%)、「クーポンを有効活用」(64.2%)となりました[図 9]。

ポイント、値引き、クーポンは新成人の堅実ライフを支える有効な3種の節約手段と認識されており、中でも「ポイントを有効活用」は8割の新成人から支持されています。

[図 9] 利用したい節約方法(複数回答)



■ ポイントを有効活用できている新成人は、

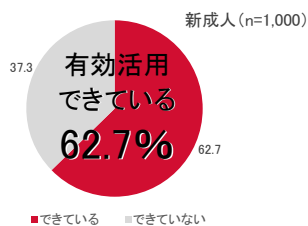
有効活用できていない新成人より自由に使えるお金が約 2,000 円多い

ポイントの有効活用は新成人の頼れる節約術ですが、新成人 1000 人のうちポイントの有効活用が「できていると思う」と答えたのは 62.7%と6割がポイントを有効活用していると思っているという結果に[図 10]。ポイントを有効活用できていると思うと答えた 612 人とポイントを有効活用できていないと思わないと答えた 368 人の 4 月以降の自由に使えるお金を見ると^{※3}、ポイントを有効活用できていると思っている人は平均で 4.39 万円/月、ポイントを有効活用できていない人は平均で 4.20 万円/月となりました[図 11]。

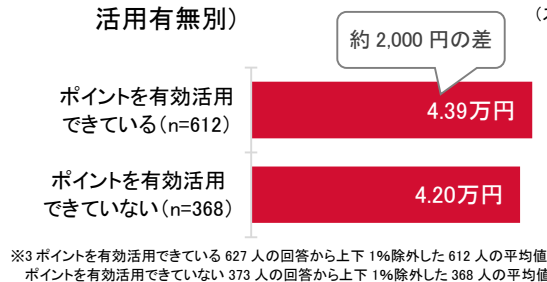
ポイントを有効活用できていると思っている人とできていない人の自由に使える金額の差は平均で約 2,000 円/月近くであり、その全てがポイントの有効活用によるものという訳ではないとしても、支出の増加が見込まれる新成人にとって、ポイントの有効活用はうれしい節約術の一つとなりそうです。今後ポイントの有効活用をしたいかと聞くと、新成人 1000 人の約 9 割が「ポイントの有効活用をしたい」(89.9%)と答えました [図 12]。

新成人の新生活では、ポイントをより意識した消費行動がさらに広がりそうです。

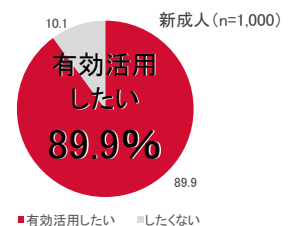
[図 10] 現在のポイントの有効活用状況
(スコアは「できている」+「ややできている」の合計値)



[図 11] 4 月以降、自由に使える 1 か月あたりの平均金額(ポイント有効活用有無別)



[図 12] 今後のポイントの有効活用意向
(スコアは「したい」+「ややしたい」の合計値)

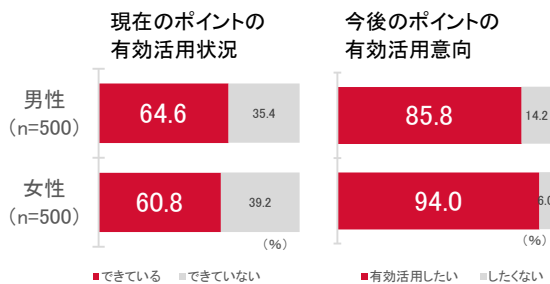


■ **ポイントの有効活用ができない理由、第1位は「おトクなポイントのため方がわからない」**
一方で、今後のポイントの有効活用意欲は男女ともに8割超え

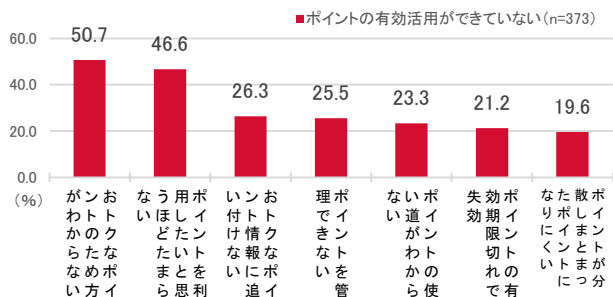
ポイントの有効活用状況について男女別に見ると、現在、ポイントを有効活用できていると思うと答えたのは男性 64.6%、女性 60.8%とほぼ同数ですが、今後の活用意向は男女とも8割を超え、特に女性の活動意向は 94.0%と高くなっています[図 13]。

図 10 でポイントを有効活用できていると思わないと答えた 373 人にその理由を聞くと、半数が「おトクなポイントのため方がわからない」(50.7%)、「ポイントを利用したいと思うほどたまらない」(46.6%)と答えており、この 2 点が今後の課題となるようです[図 14]。

[図 13]ポイントの有効活用の実態と今後の意向 (図 10・図 12 の男女別)



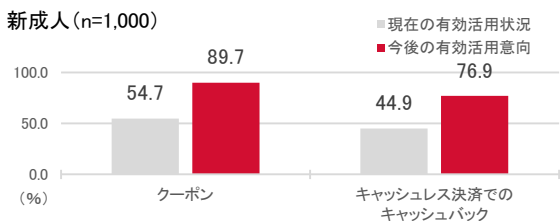
[図 14]ポイントの有効活用ができない理由 (複数回答)



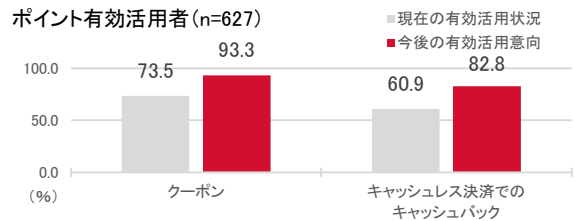
■ **新成人 1,000 人の約 9 割がクーポン、約 8 割がキャッシュレス決済によるキャッシュバックを有効活用していく意向あり**

ポイント活用以外の節約方法として、クーポンの利用やキャッシュレス決済によるキャッシュバックがあります。新成人の現在の活用状況と今後の活用意向を聞くと、現在クーポンを有効活用していると思うと答えたのは 54.7%、今後のクーポンの有効活用の意向は 89.7%、キャッシュレス決済によるキャッシュバックは 44.9%から 76.9%へと、どちらも今後の活用意向が高くなっています[図 15-1]。また、現在、ポイントを有効活用できている人で見ると、クーポンが 73.5%から 93.3%へ、キャッシュレス決済によるキャッシュバックが 60.9%から 82.8%へと、現在・今後ともに有効活用の意向が、新成人の平均より高くなっています[図 15-2]。ポイントの有効活用できている新成人の多くは、クーポンやキャッシュレス決済も有効活用して、さらなるおトクを望んでいる方が多いようです。

[図 15-1]クーポンやキャッシュレスのキャッシュバックの利用実態と今後の意向 (スコアは「有効活用したい」+「やや有効活用したい」の合計値)



[図 15-2]クーポンやキャッシュレスのキャッシュバックの利用実態と今後の意向 (スコアは「有効活用したい」+「やや有効活用したい」の合計値)

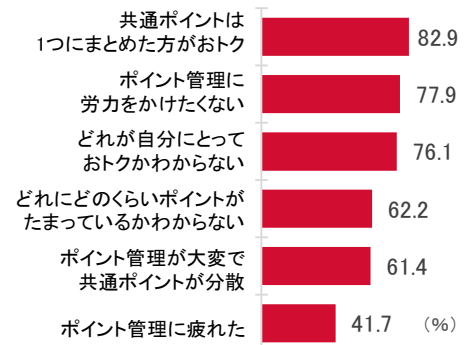


■ 複数のポイント使用で悩みが顕在化

ポイントを有効活用するにあたり、ポイントの種類、使用先、利用方法なども多様です。そこで、ポイントの有効活用に対する意見を聞くと、新成人 1,000 人の約 8 割が「ポイントは 1 つにまとめた方がおトク」(82.9%)と考え、できるだけ「ポイント管理に労力をかけたくない」(77.9%)と望んでいます。しかし、実際には「管理が大変で共通ポイントが分散」(61.4%)していたり、「どれにどのくらいポイントがたまっているかわからない」(62.2%)といった状況に陥り、「ポイント管理に疲れた」(41.7%)という声も出ています[図 16]。

[図 16]ポイントに対する意見

(スコアは「あてはまる」+「ややあてはまる」の合計値)
新成人 (n=1,000)



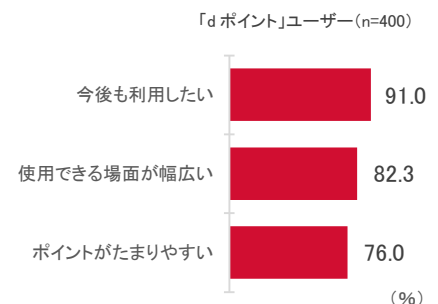
■ 新成人の「dポイント」ユーザー400人のうち4人に3人が、「ポイントがたまりやすいと思う」と高評価！今後の継続利用意向は新成人「dポイント」ユーザー400人のうちの9割を占める。

新成人 1000 人に、普段利用しているポイントを選択肢の中から回答してもらい(複数選択可)、利用しているポイントについて図 17 の項目等において評価いただきました。

今回の調査で「dポイント」を実際に利用している新成人は、調査対象者 1000 人のうち 400 人という結果に。dポイント利用者 400 人に「dポイント」についてどう思うか聞くと、4人に3人が「ポイントがたまりやすいと思う」(76.0%)、8割が「利用できる場面が幅広いと思う」(82.3%)と答え、9割が「今後も利用したいと思う」(91.0%)と答えています[図 17]。

新成人の「dポイント」ユーザー400人の中の9割が継続利用したいと回答するdポイントは、これからポイントの有効活用を始める新成人にとっても、有効な節約の選択肢の1つとなりそうです。

[図 17]dポイントユーザーが評価する主な項目(3項目抜粋)



■ 「dポイント」について

さまざまなシーンでご利用いただけるポイント、それが d ポイントです。ドコモの回線をお持ちでないお客さま^{※1}も、ご利用が可能です。2021 年 12 月現在、決済・ポイント利用可能箇所は約 387 万箇所まで拡大しました^{※2}。

ファーストフードやコンビニなど街のお店やネットショッピングなどのお買物はもちろん、エンタメなどのドコモのサービス、ドコモのケータイやドコモ光、ドコモでんきのお支払いなど、おトクにポイントをためる・つかうことが可能です。

■ 「dポイントクラブ」について

「dポイントクラブ」は、ドコモが提供する入会金無料・年会費無料のポイントプログラムです。ドコモの回線をお持ちでないお客さまもご加入いただけます^{※1}。2015 年 12 月のプログラム開始以降、2021 年 12 月に 6 周年を迎えた本プログラムは、2021 年 12 月現在、約 8,700 万人以上のお客さまにご利用いただいております。

この度、2022 年 6 月 3 日(金)より、街やネットの加盟店におけるお買物や、ドコモの各種サービスで d ポイントを多く獲得いただくほど、d ポイントがたまりやすくなるポイントプログラムに改定いたします^{※3}。

■「dポイントクラブ」主な改定内容

① d ポイントを多く獲得いただくほど、d ポイントがたまりやすくなるポイントプログラムに

●「ポイント倍率アップ特典」【新規】^{※4}

d ポイント加盟店(街のお店、ネットのお店)^{※5}における d ポイントカードご利用時の d ポイント進呈倍率がランクに応じてアップ(2 つ星ランクなら 1.5 倍、3 つ星・4 つ星ランクなら 2.0 倍、5 つ星ランクなら 2.5 倍)。

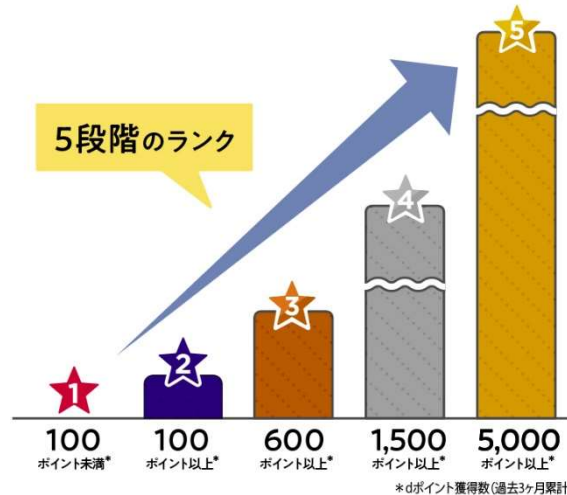
●「長期利用ありがとう特典」^{※4※6}【改定】

ドコモの携帯電話回線を 3 年以上ご利用かつ、「5G ギガホ プレミア」「5G ギガライト」「はじめてスマホプラン」など対象料金プランをご契約の場合、ランクおよびドコモの携帯電話回線の継続利用期間(3 年、6 年、10 年)に応じて、誕生月の「d払い」還元率がアップ(3 年以上の場合+2%~+5%、6 年以上の場合+5%~+10%、10 年以上の場合+10%~+20%)。

ランク	dポイント 獲得数 (3か月累計)	dポイントクラブ 会員のお客さま	ギガプランなどを ご利用のお客さま			
		ポイント倍率 アップ特典	長期利用ありがとう特典			
		dポイントカードを ご利用時のdポイントの 進呈倍率がアップ ^{※4}	d払い 誕生月にd払いの 還元率がアップ ^{※4}	ドコモ回線 継続利用期間 10年以上	ドコモ回線 継続利用期間 6年以上	ドコモ回線 継続利用期間 3年以上
★ 5つ星	5,000 ポイント	× 2.5倍	+20%	+10%	+5%	
☆ 4つ星	1,500 ポイント	× 2.0倍	+20%	+10%	+5%	
★ 3つ星	600 ポイント	× 2.0倍	+15%	+8%	+3%	
☆ 2つ星	100 ポイント	× 1.5倍	+15%	+8%	+3%	
★ 1つ星	—	1倍(基本)	+10%	+5%	+2%	
		全ランクのお客さまへ おトクなdポイントクラブクーポン として今後拡充し提供予定	対象の料金プラン ・「5Gギガホ プレミア」「5Gギガホ」「5Gギガライト」 ・「ギガホ プレミア」「ギガホ」「ギガライト」 ・「はじめてスマホプラン」「U15はじめてスマホプラン」			

②ランクアップしやすいプログラムに

判定期間の短縮、ランク判定基準となる「d ポイント獲得数」の基準引き下げ、および「d ポイント獲得数」の判定対象サービスの拡大により、d ポイントを獲得いただくほどランクアップしやすいプログラムに。なお、今回の改定に伴い、「プラチナクーポン」などの一部クーポンの提供を終了し、全ランクのお客さまがご利用いただけるおトクな「d ポイントクラブクーポン」を、今後拡充する予定です。



※1:ドコモのケータイ回線をお持ちでないお客様は「d アカウント®」が必要です。一部ご利用いただけないサービスがございます。

※2:決済・ポイント利用可能箇所は d ポイント・ID・d 払いの利用可能箇所の合計。

※3:ランク判定期間は、2022年3月1日(火)から開始となります。

※4:「ポイント倍率アップ特典」および「長期利用ありがとう特典」で進呈される d ポイントは d ポイント(期間・用途限定)です。進呈ポイントは小数点以下切り捨てとなります。「ポイント倍率アップ特典」のポイント進呈上限は、お一人さま 15,000pt/月です。「長期利用ありがとう特典」の対象となる料金プランおよび料金プラン毎のポイント進呈上限については、右表をご参照ください。

※5:一部、対象外の店舗、商品、サービスがあります。

※6:現在提供する「ずっとドコモ特典」のエントリーは、誕生月が 2022年5月までのお客さまが対象となります。「長期利用ありがとう特典」の提供は、誕生月が 2022年6月以降のお客さまを対象に、2022年6月1日(水)より開始いたします。なお、特典ポイントの進呈タイミングやランク判定のタイミングなど、詳細については決まり次第 d ポイントクラブのサイトにて別途お知らせいたします。

対象料金プラン	ポイント進呈上限
・5Gギガホ プレミア ・5Gギガホ ・ギガホ プレミア ・ギガホ	5,000ポイント
・5Gギガライト ・ギガライト	3,000ポイント
・はじめてスマホプラン(5G) ・はじめてスマホプラン(Xi)	1,200ポイント
・U15はじめてスマホプラン(5G) ・U15はじめてスマホプラン(Xi)	

●「d ポイントクラブ」期間限定ウェブサイト https://dpoint.jp/content/dpointclub_renew_2022/index.html

●「d ポイントクラブ」ウェブサイト <https://dpoint.jp/index.html>

●「d 払い」ウェブサイト https://service.smt.docomo.ne.jp/keitai_payment/

●「d カード®」ウェブサイト <https://d-card.jp/st/>

「d アカウント」「d カード」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。